

鳥取県における少子化対策に係るアンケート調査結果

平成25年3月31日
子育て王国推進局子育て応援課

【本調査の目的】

昨年6月に発表された平成23年人口動態統計において、本県の出生数は4,931人（前年4,790人）と5年ぶりに増加した。全都道府県のうち出生数が増加したのは、本県を含む3県のみで、中でも本県の増加数は全国トップの結果であった。

【鳥取県（141人増）、鹿児島県（120人増）、徳島県（10人増）】

県及び市町村では、子育て支援を重要な政策の1つに位置づけ、子育てしやすい環境づくりに向け様々な施策に取り組んでいるところであり、このたびの出生数増加の背景を検証し、今後の子育て支援施策に反映していく。

【アンケートの概要】

- 対象者：平成23年中に県内で出産した人（平成23年出生数 4,931人）
- 調査期間：平成24年8月～12月
- 調査方法：上記期間中に、各市町村で実施する1歳半健診を受診する際にアンケートを配布して記入をお願いする
- 回答者：943人

【回答者の属性】

- 年齢構成：10代（1%）、20代（30%）、30代（60%）、40代以上（8%）、未記入（1%）
- 住所属性：市部（75%）、町村部（25%）
- 勤務状況：勤めている（62%）、勤めていない（36%）、未記入（2%）
- 家族構成：核家族（62%）、親等と親族と同居（35%）、未記入（3%）
- 過去5年間に県外から鳥取県に転入：11%（うち転職（5.6%）、移住（2.8%））

【結果概要】

<出産に当たり考慮に入れたこと（大きく寄与したこと）>

- 「妊婦健診の助成がある」「児童手当がある」「小児医療費助成がある」といった経済的支援と、「協力してもらえる親等が近くにいる」「父親が家事・育児に協力的である」といった家族等の協力が高い。特に3人目の場合、経済的支援の充実のウエイトが高くなっている。

<鳥取県の子育て環境>

- ほぼ半数が鳥取県は「子育てしやすい環境だと思う」と回答し、「子育てしやすい環境だと思わない」方は10%、また、36%の方が「わからない」と回答。
- 子育てしやすい環境だと思う理由に、自然の豊かさをあげる人が多く、次いで保育所や子育て支援センターなど保育環境が充実していることや、小児科・産婦人科が多いなど医療体制が充実していること、小児医療費助成、近所・地域社会とのつながりなどをあげる方が多い。
- 「わからない」と回答した方のうち、その理由を「他県のことわからない」と回答した方が多い。

<今後充実してほしい子育て支援策>

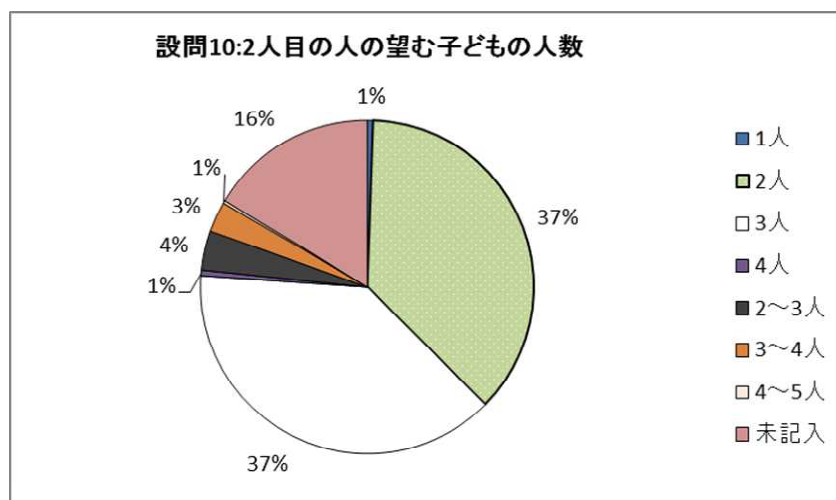
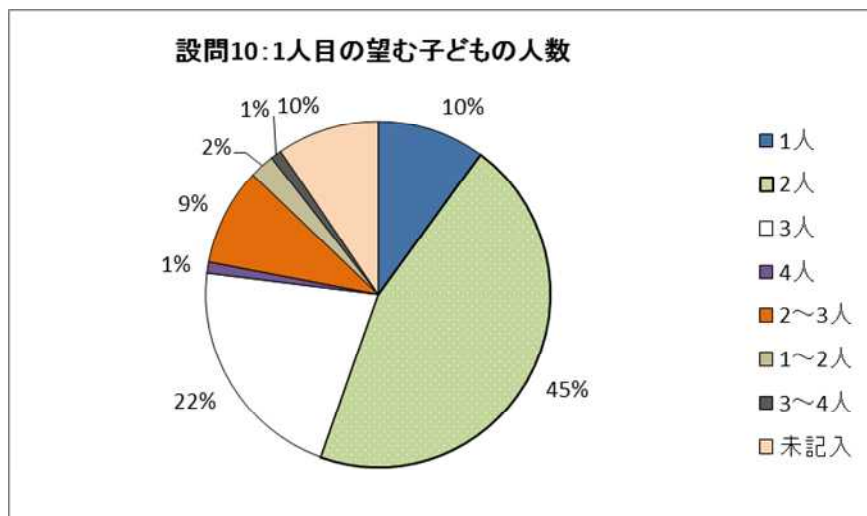
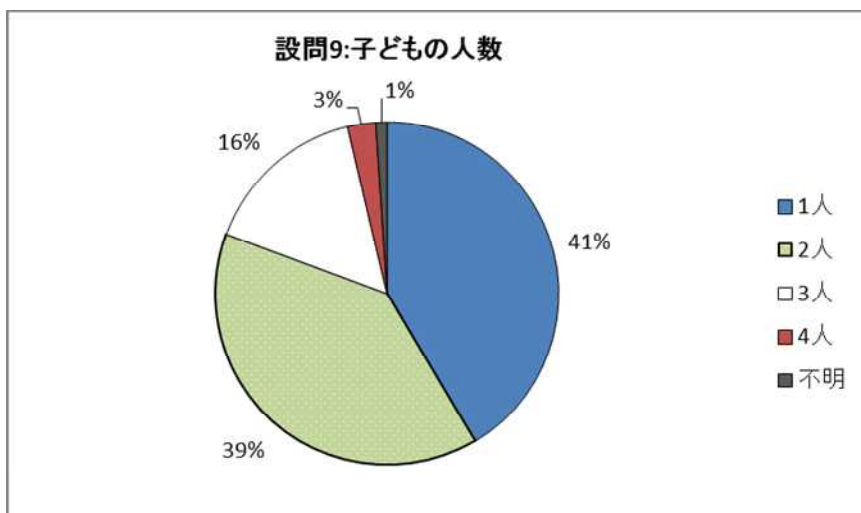
- 保育所、病児・病後児保育施設の増設など保育環境の充実、保育料の減額や児童手当の増額、医療に係る経費の助成などの経済的支援のほか、育休等が取得しやすい職場環境の改善や子どもが遊べる場所の充実など、子どもと一緒に出かけられる環境についても充実を求める意見が多い。

<子育て支援サービスの周知度>

- 子育て王国を宣言していることは知っている方は多いが、どのような子育て支援の制度・サービスがあるかを知らないという方が42%あった。

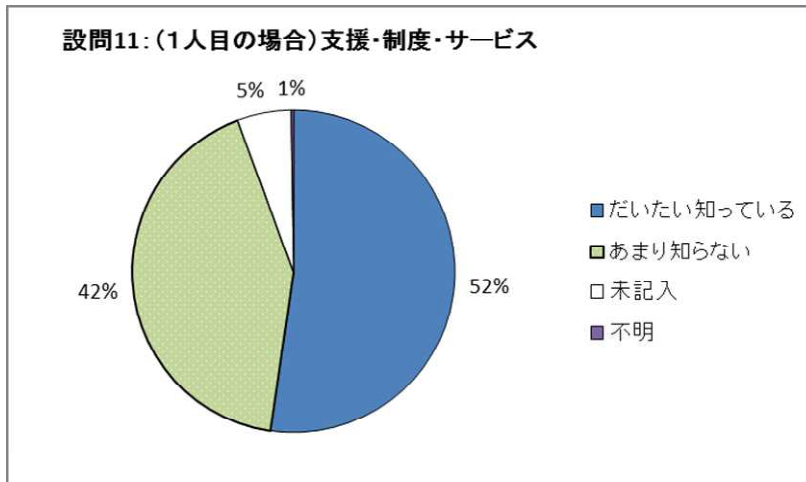
1 望む子どもの人数

- ・ 現在のお子さんの数を聞いたところ、1人と2人がほぼ同じで、全体の8割を占めている。
- ・ 現在1人目のお子さんの方で将来望む子どもの人数は、2人が多く45%、3人が22%であった。
- ・ 現在2人目のお子さんの方は、当該子どもまでと考えている方は37%、3人の子どもを望む方は37%であり、将来3人の子どもを望む割合は、現在1人目の方より2人目の方のほうが高い。



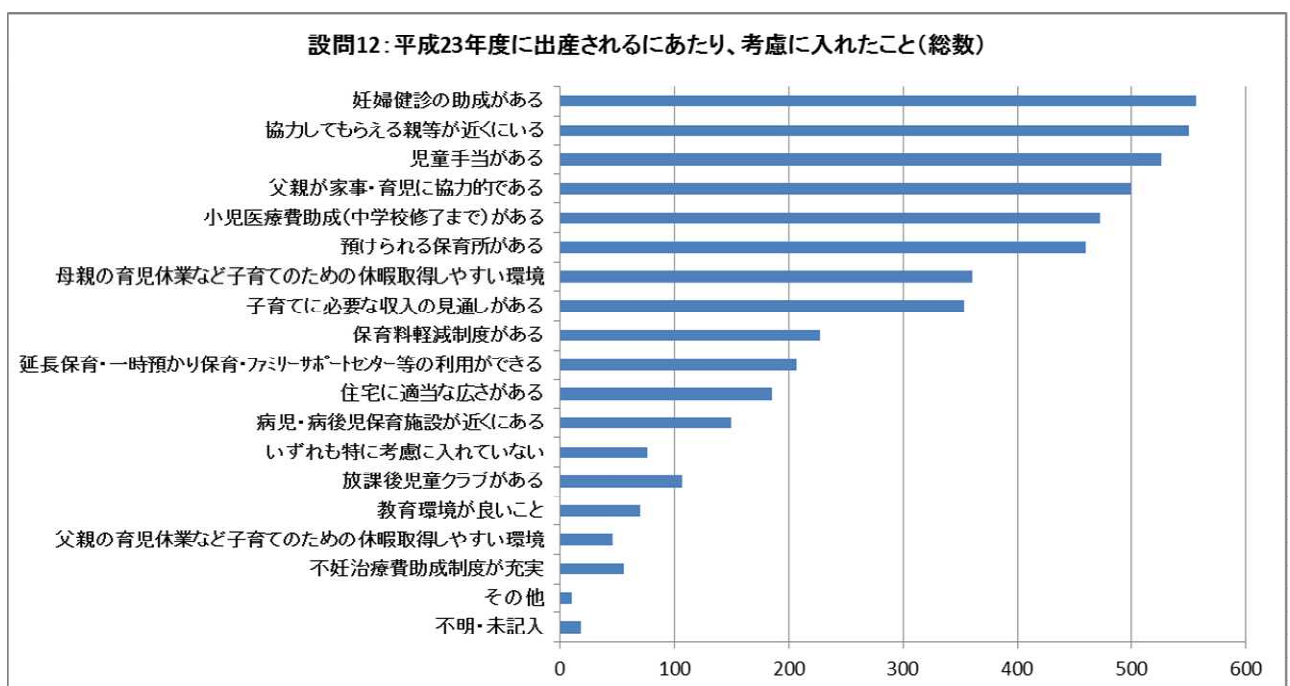
2 子育て支援サービスの周知度

- ・ 1人目のお子さんの場合の子育て支援に係る制度・サービスの周知度を聞いたところ、どんな子育て支援の制度・サービスがあるか概ね知っていると回答した人は52%に対し、あまり知らないと答えた人が42%あり、半数近くであまり知られていない。市町村での母子健康手帳配布の機会等を捉えた支援制度の周知などが必要である。

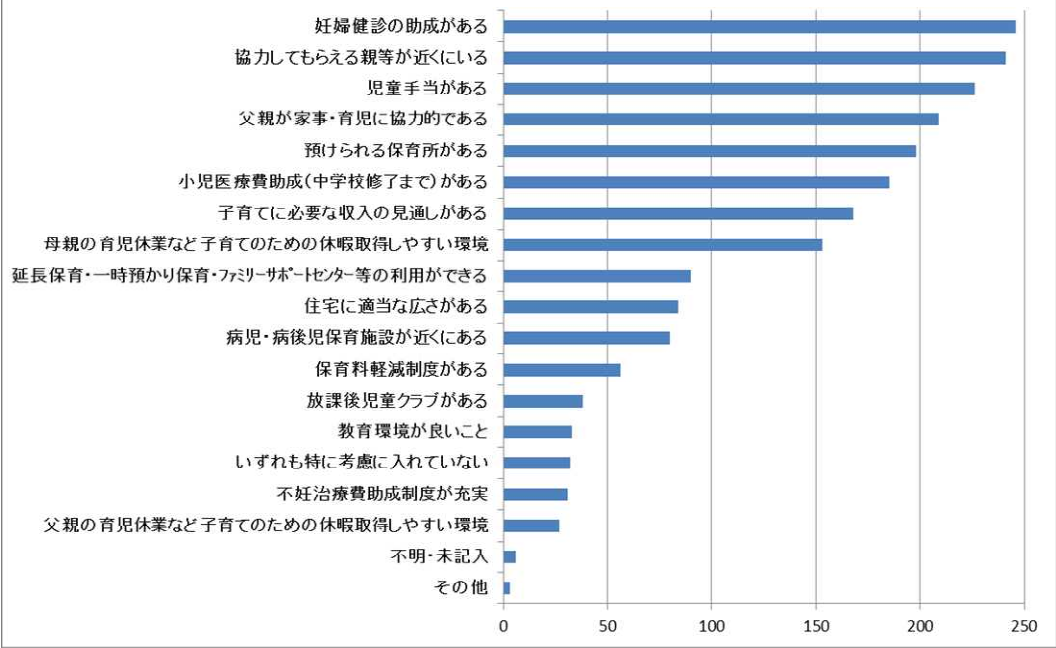


3 出産に当たり考慮に入れたこと（大きく寄与したこと）※複数回答

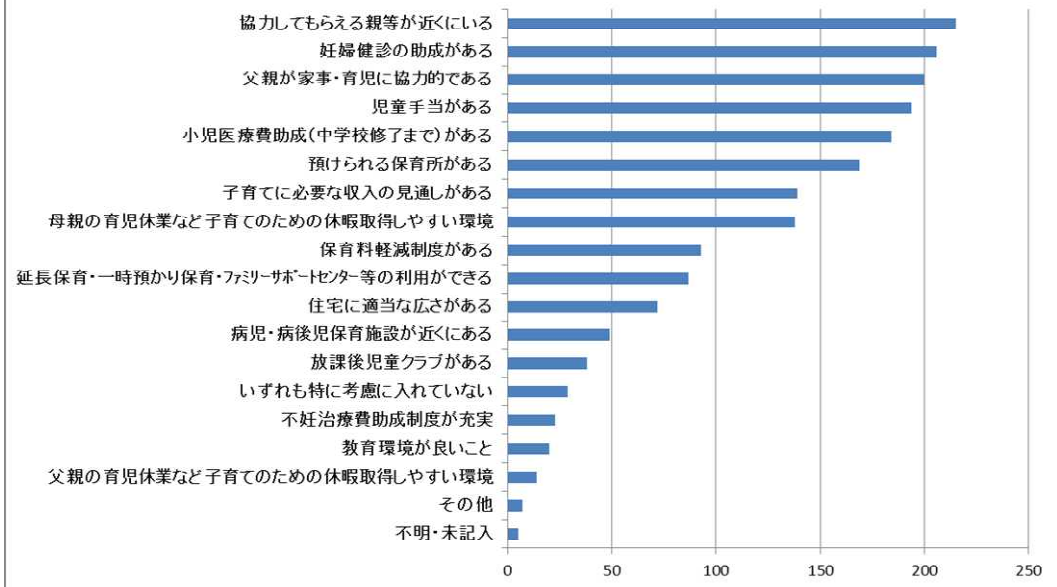
- ・ 1人目、2人目、3人目の場合で、出産に当たり考慮に入れたことを比較すると、いずれの場合も「妊婦健診の助成がある」「児童手当がある」「小児医療費助成がある」といった経済的支援と、「協力してもらえる親等が近くにいる」「父親が家事・育児に協力的である」といった家族等の協力が高くなっている。次いで、「預けられる保育所がある」と「子育てのための休暇取得しやすい職場環境」が高くなっている。
- ・ 3人目の場合、「妊婦健診の助成がある」「児童手当がある」「小児医療費助成がある」「保育料軽減制度がある」が上位を占めており、特に経済的支援の充実のウエイトが高くなっている。



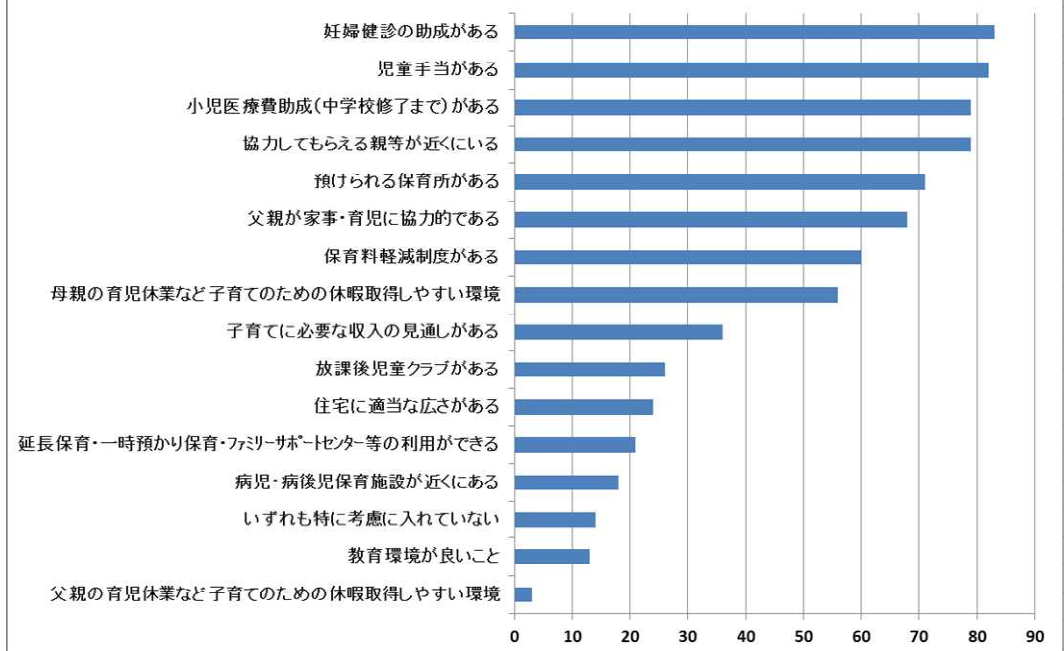
設問12: 平成23年度に出産されるにあたり、考慮に入れたこと(1人目)



設問12: 平成23年度に出産されるにあたり、考慮に入れたこと(2人目)

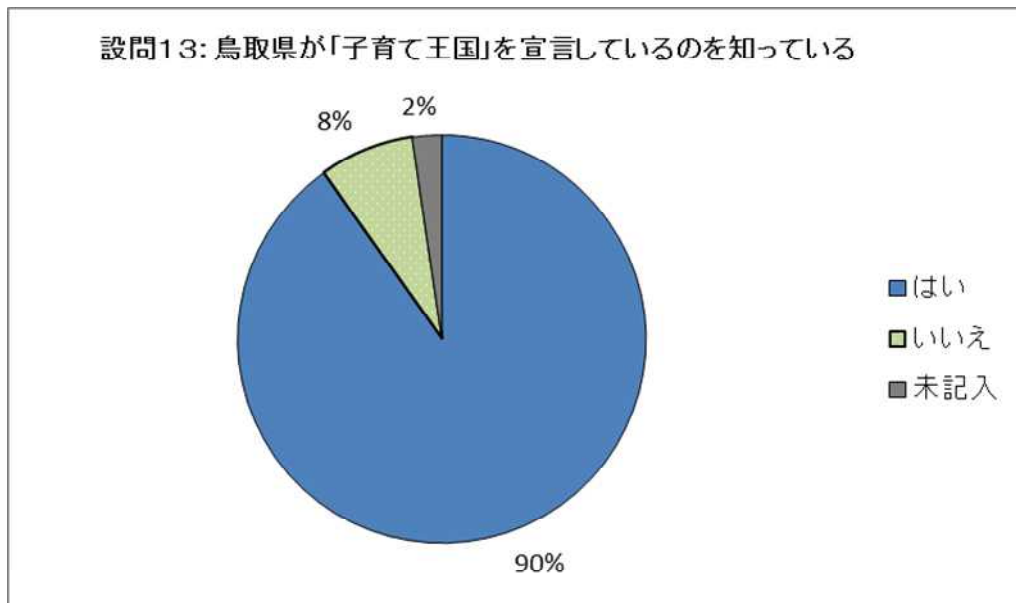


設問12: 平成23年度に出産されるにあたり、考慮に入れたこと(3人目)



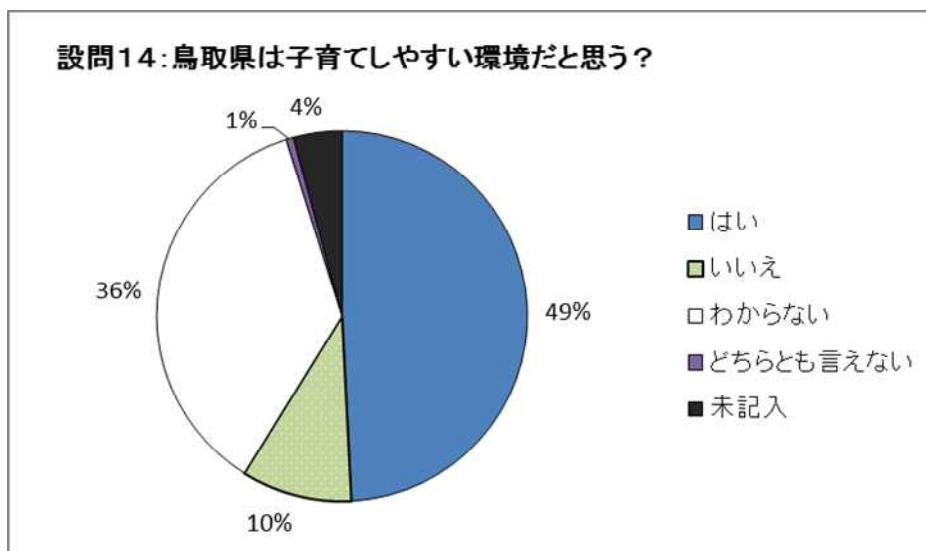
4 「子育て王国鳥取県」の認知度

- ・鳥取県が「子育て王国」を宣言しているのを知っていると回答した人は90%あり、認知度は高い。



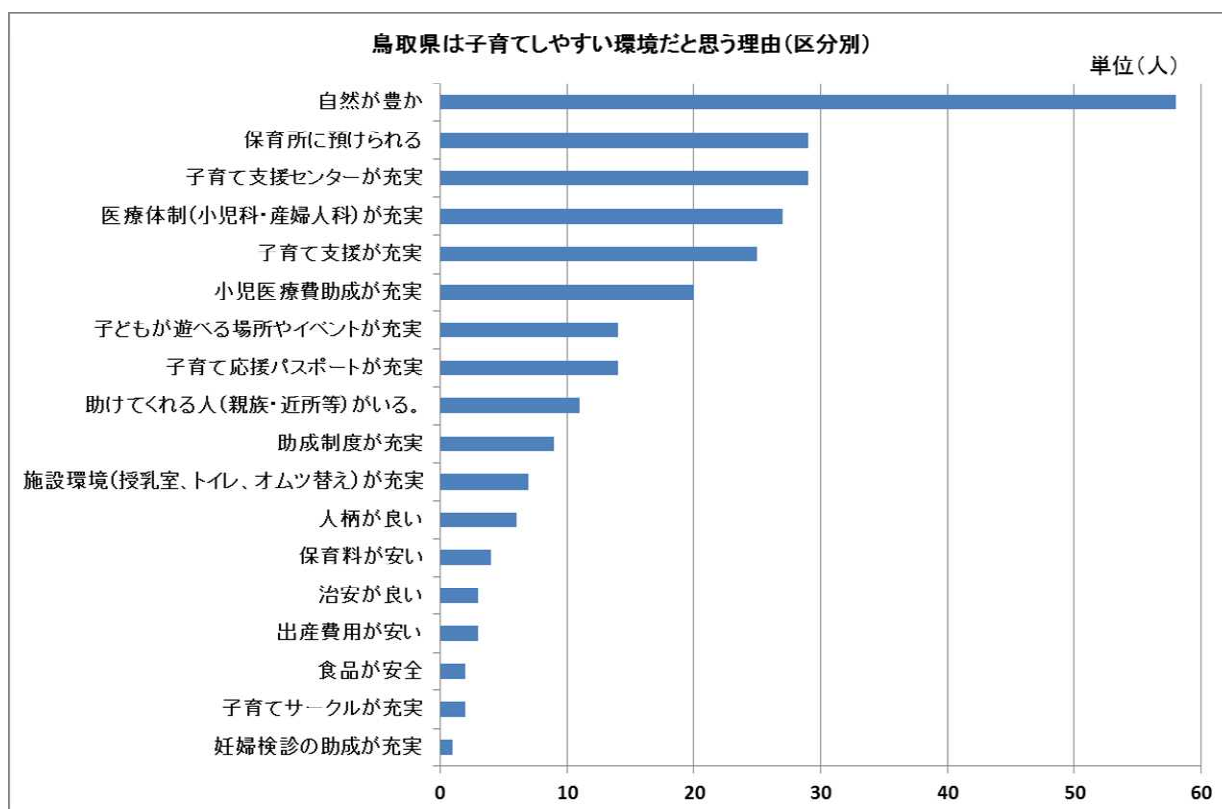
5 鳥取県の子育て環境

- ・ほぼ半数が鳥取県は子育てしやすい環境だと思うと回答し、子育てしやすい環境だと思わない方は10%、また、36%の方が「わからない」と回答している。
- ・子育てしやすい環境だと思う理由に、自然の豊かさをあげる人が多く、次いで保育所や子育て支援センターなど保育環境が充実していることや、小児科・産婦人科が多いなど医療体制が充実していること、小児医療費助成、近所・地域社会とのつながりなどをあげる人が多い。
- ・子育てしやすい環境だと思わない理由は、近くの希望した保育園に入れなかったことや、育児休業などの子育てのための休暇を取得しにくいなど、子育てしやすい就業環境になっていないことが多い。
- ・「わからない」と回答した方のうち、その理由を「他県のことわからないから」と回答した方が多く、県内の子育て中の方に他県と比較した子育て環境をPRしていくことも大切である。



(1) 鳥取県は子育てしやすい環境だと思う理由

※ () 数は人数、主な意見を抜粋



鳥取県は子育てしやすい環境だと思う理由

[経済的支援] (32)	<input type="radio"/> 小児医療費助成が充実している (20) <ul style="list-style-type: none"> ・小児医療費助成は助かっている。 ・中学校修了まで小児医療費助成があること。 ・小児医療助成制度は出産後に知ったが、子どもが風邪を引いたり何か不安なときすぐに小児科へ行くことができ、費用の負担も軽減されるのでありがたい制度だと思う。 ・小児医療費の助成期間が長い。 <input type="radio"/> 助成制度が充実している (9) <ul style="list-style-type: none"> ・都会と比較すると、経済的支援が色々ある。 ・全国の中でも子どもに関する手当や助成が多く、長期であるため。 ・東京などと比較すると出産費用などもろもろ。 ・助成などが充実している。 <input type="radio"/> 出産費用が安い (3) <ul style="list-style-type: none"> ・出産費用、分娩費が安い。
[医療環境] (27)	<input type="radio"/> 医療体制(小児科・産婦人科)が充実(27) <ul style="list-style-type: none"> ・産婦人科・小児科・病院は充実している。 ・病院、特に夜間診療がある。 ・休日の医療体制が整っている。 ・全国的に見ると小児科が多い ・熱が出た時、病院に連絡したらきちんと対応してくれたり時間外でもみてる。
[保育環境] (33)	<input type="radio"/> 保育所に預けられる (29) <ul style="list-style-type: none"> ・都会と違い保育園に入れやすいから。

	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所に入りやすいところが多い。 ・比較的保育所など預け先がある。 ・県外の友人は保育園に入所できず困っているが、鳥取県は職場も自宅から近く何かあっても迎えにすぐいける環境にある ・わりと保育園等、待機せずに入れる。 <p>○保育料が安い（４）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育料が安くなる（特に３人目から）等ある。 ・保育料が安い。 ・保育料助成がある。
<p>[子育て支援] (70)</p>	<p>○子育て支援センターが充実している（２９）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援センターが多くあり、すごく助かっている。 ・支援センターなどたくさんあって交流できるのは嬉しいです ・支援センターが多くあり、よく利用しリフレッシュできているから。 ・他県の友達に聞くと近所に相談できる場所がないと言われたが、すぐ近くに子育て支援センターがあり、とても助かる。 ・子育て支援センターで育児の不安をぶつけられる時間があるので助かっている。 ・他県と比較すると未就園児に対して子育て支援センター等のサービスが充実 <p>○子育て支援が充実している（２５）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他県より支援が多いと感じるから。 ・子育て支援に力を入れている。 ・１人目の時（６年前）と比較すると子育て環境が充実していると感じる。 ・いろんな制度が充実している点。 ・飲食店など子供用の椅子があったり、子連れだと言わなくても座敷に通してくれたり、市から届くメールも行事予定等のついていて出かけやすい。 ・支援制度がかなり充実しているから。 <p>○子育て応援パスポートが充実している（１４）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内どこへ行っても子育てパスポートなど利用しやすいから。 ・子育て支援カードを利用できるお店が多い。 ・子育てパスポートが充実している。 ・子育てパスポートで割引になったりゴミ袋給付がある。 <p>○子育てサークルが充実（２）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援サークル等での交流があるので一人で悩む事がないから。
<p>[自然・社会環境] (102)</p>	<p>○自然が豊か（５８）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・娯楽は少ないが、自然と多く触れ合えるところはよいと思う。 ・自然の中でのびのびと育てやすい。 ・都会とは違って自然とふれあう機会が多い。 ・自然が多くのおんびり子育てが出来る。 ・山、海、川など自然豊かで、身近にあって親子で楽しめる。 ・自然に触れ合うことができることは良い環境だと思う。 <p>○子どもが遊べる場所やイベントが充実（１４）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に倉吉は屋外・内ともに子どもを遊ばせる場所がたくさんあるから。 ・遊びに行ける公共施設がたくさんある。特に東部。全体的にはどうかかなと思う。 ・子どもと外出しても施設が充実しているのであまり困らない。

- ・様々な子ども向けイベントが格安または無料で開催されている。
- ・公園が近くにある。

○近くに子育てを支援してくれる人（親族・近所等）がいる（11）

- ・近所の人たちの見守りがある。
- ・親兄弟が近くに住んでいて、子育てに協力してくれること。
- ・祖父母、親、兄弟など助けになる人が近くに居る方が多いと思う。

○施設環境（授乳室、トイレ、オムツ替え）が充実している（7）

- ・いろんな施設に子ども向けの環境（トイレ・オムツ替え・授乳室など）が整っている。
- ・ベビーベット・チェアの整備が進んでいる。
- ・出かける場所に子ども対応トイレがある等、どこでも温かく迎えられていると感じる。

○人柄が良い（6）

- ・子ども連れでお出かけ時に手をさしのべてくれる親切なお店や人が多いと思う。
- ・周囲の目が温かく協力的な性格の県民が多い。
- ・子どもへ声かけしてくれる等の人柄がいい。

○治安が良い（3）

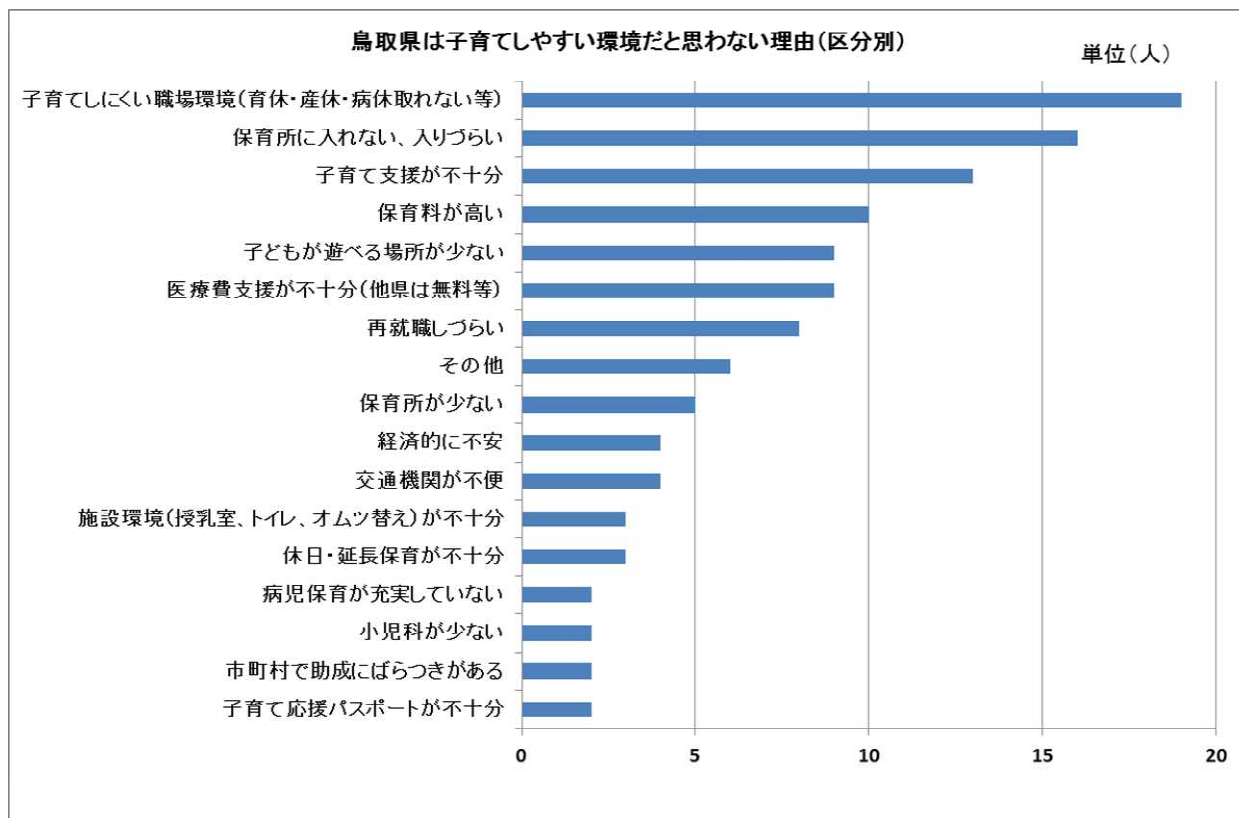
- ・安全、治安が良い。

○食品が安全（2）

- ・食品が豊富で安全。

○妊婦検診の助成が充実（1）

(2) 鳥取県は子育てしやすい環境だと思わない理由



鳥取県は子育てしやすい環境だと思わない理由

[経済的支援]

(21)

○保育料が高い(10)

- ・保育料が収入に比べ高い。
- ・親族で子どもをみてもらうことが難しく仕事をしないと収入が…未満児の保育料は高く大変だと思うから。
- ・他県の方が保育料が安いと聞いたから。
- ・保育料が高い

○小児医療費助成が不十分(他県は無料等)(11)

- ・他県(茨木市、東海市、名古屋市、松江市等)では医療費無料だったから。
- ・子どもが3人もいると病院に行く回数がすごく多い事もあるから。
- ・医療費助成などは他県に比べて少ない気がする。
- ・市町村で助成にばらつきがある。

[医療環境] (2)

○小児科が少ない(2)

[保育環境] (26)

○保育所に入れない、入りづらい(21)

- ・求職中だが保育園の定員が一杯で入れなかったため働けない。
- ・保育園には入れず無認可に入れているが、半年以上待っても入れず困っているから。
- ・勤務態勢に応じて希望する保育所に入所できず、職場へ迷惑をかけたかたり勤務時間を短縮させざるを得なかったため。
- ・市では働きたくても預けられる保育所が少なく働けない人が沢山いると聞くから。
- ・3歳未満の子の受け入れ可能な保育所がなく、仕事を続けられなかったため。
- ・保育施設がなく仕事に影響しているから。

○休日・延長保育等が不十分(3)

- ・保育園が土曜も18時まで預かって欲しい。
- ・子育て支援センターは、土・日・祝日も利用できるようにして欲しい。

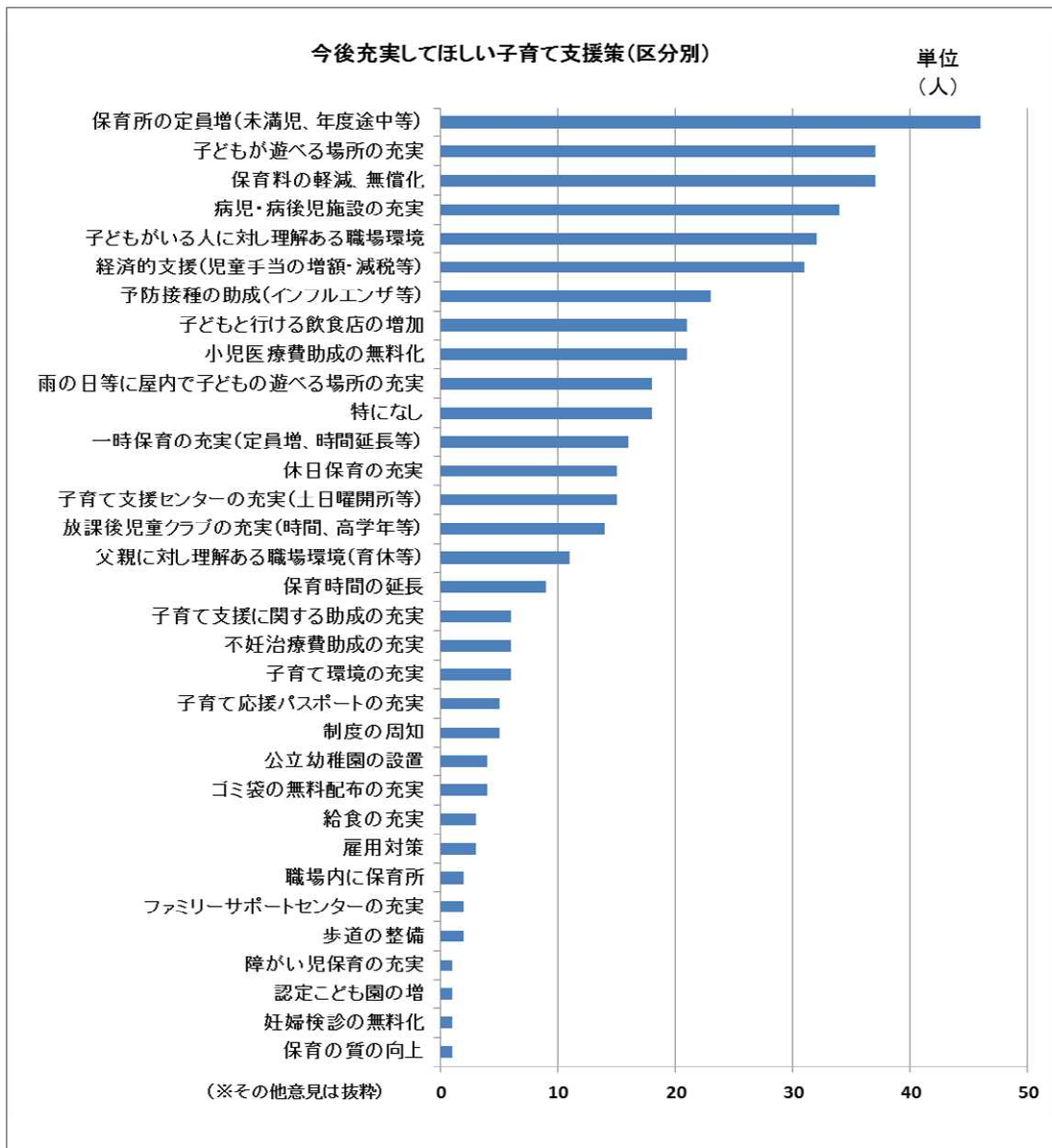
	<p>○病児保育が充実していない（２）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もっと病児保育が安く空きがあると助かる。
<p>[子育て支援] (15)</p>	<p>○子育て支援が不十分である（１３）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て王国と言っているわりにそこまで育てやすい。 ・行政のおかげとは思わない。むしろ宣言するなら結果は？と思ってしまう。 ・助成制度が少ない。 ・転入時は何の支援もなかったので、どのように他県に比べて子育て王国を宣言されているのか内容を知りたい。 ・他県より優れているとは思わない <p>○子育て応援パスポートが不十分（２）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もっとお店なんかで割引やポイントが欲しい
<p>[自然・社会環境] (16)</p>	<p>○子どもが遊べる場所が少ない（９）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動物園や水族館などの子どもと楽しめる施設が著しく少ない。 ・他県の方がプールなど遊び場が多い。 ・子連れで行きやすい室内の遊び場やお店が少ない。 ・子育てしやすいと思うが、ただ子どもが遊べる施設などはもっと欲しい。 <p>○交通機関が不便（４）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引っ越してきたばかりでよくわからないが、とにかく交通の便が悪く、車がないと子どもと一緒にどこへも出かけられない。 ・バス・駅などベビーカーでの利用がとっても大変。エレベーターの配慮のある駅が県内にはどれくらいあるのか。車がないとどこへもいけない。そんな状況で子育て王国と声高に叫んでいるギャップに残念に思う。 <p>○施設環境（授乳室、トイレ、オムツ替え）が不十分（３）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お店などの建物のトイレが子どもと一緒に入りやすく不便。 ・オムツを替えられるところが少ない。
<p>[就業環境] (27)</p>	<p>○子育てしにくい職場環境（育休・産休・病休取れない等）（１９）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県は子育てしやすい環境でも、企業は子育てしにくい。 ・育児休業などの子育てのための休暇を取得しにくい環境にあるため。 ・産休中は無給で育休中は収入が半減であり、経済的支援が整っているとは思えない。 ・子育てしながら働き続ける職場が少ないと思うので、産休・育休がある会社が増えるように支援して欲しい。 ・まだまだ子供が病気になっても休みがもらえない。 ・非正規の育休などがまだ不十分。 ・子どもが急な病気の時、休みが取りにくい職場だった。 <p>○再就職（産後等）しづらい（８）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て王国といってるわりに、再就職するにも保育園には入れないし、子どもがいるからという理由で採用してもらえないから。 ・専業主婦から再就職する際、幼い子どもがいるからか中々再就職できなかったため。
<p>[その他] (14)</p>	<p>○その他（１４）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域別等にして健診・予防接種などして欲しい。 ・市町村で支援センターの利用等の制度（システム）が違うので統一して欲しい。 ・あまり協力的な人がいない。 ・結婚すると年寄りの古い考えを押しつけられるから。

(3) 鳥取県は子育てしやすい環境かどうか分からない理由

鳥取県は子育てしやすい環境かどうか分からない理由	
(66)	<input type="radio"/> 他県のことを知らない。(37) <input type="radio"/> よくわからない。(15) <input type="radio"/> その他(14) ・地域別等にして検診・予防接種などしてほしい。 ・近くにお店がなさすぎる。等

6 今後、充実してほしい子育て支援策（自由記載）

- ・ 保育所、病児・病後児保育施設の増設などによる受け皿の増を求める意見のほか、休日保育や保育所、放課後児童クラブでの時間延長など、多様な保育ニーズへの対応、保育環境の充実を求める意見が多い。
- ・ 経済的支援では、保育料の減額や児童手当の増額、医療に係る経費の助成などを求める意見が多い。
- ・ 就業環境では、育児休が取得しやすい等の職場環境の改善を求める意見が多い。
- ・ また、子どもが遊べる場所の充実など、子どもと一緒に出かけられる環境についても充実を求める意見が多い。



<p>[経済的支援] (130)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○保育料の減額、無償化（37） <ul style="list-style-type: none"> ・保育料がもう少し安くなって欲しい。 ・保育所料金を無償化にすれば少子化も減ると思う。高いから預けにくい→産まない。 ・幼稚園が私立しかないため保育料の負担が大きい。 ・共働きである程度所得があると保育料が高くなりローン負担が多いため、もっと子どもが欲しくても経済的にあきらめる人もいるため保育料の減額。 ・保育内容は同じなのに、保育料が高い人はすごく高く格差がありすぎる。 ○経済的支援（児童手当の増額・減税等）（31） <ul style="list-style-type: none"> ・扶養控除がなくなったのは家計にかなり痛手なので考慮して欲しい。 ・育休中の金銭面の助成。 ・児童手当等経済的支援の継続と充実。 ・子育てに必要な収入の見通しが無いので経済的支援が欲しい。 ・子どもにはとってお金がかかるので、もっと子ども手当や支援費があると助かります。 ○予防接種の助成（インフルエンザ等）（23） <ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンザ予防接種の助成をして欲しい。 ・インフルエンザ予防注射や水疱瘡他の予防接種の無料化 ・予防接種の無料の範囲（種類）を増やして欲しい。 ・予防接種無料化またはどこの病院で受けても同額にして欲しい。 ・働き始め子どもが病気になると大変なので育休が終わる前に任意分も含め全ての予防接種を受けるようにしているが、現在任意でしている分も助成があるとありがたい。 ○小児医療費助成の無料化（21） <ul style="list-style-type: none"> ・小児医療費助成が県によっては無料のところが複数あると聞くとそちらがいいと思う。 ・他の県・市はほとんどが無料と聞いたから小児科の受診料無料化。 ・子どもの医療費助成はありがたいが複数の医療機関受診時にそれぞれ自己負担額がかかるので、1医療機関5回目以降受診で無料ではなく、月5回以上受診で無料にして欲しい。 ○不妊治療費助成の充実（6） <ul style="list-style-type: none"> ・不妊治療費の負担が軽くなるようにして欲しい。 ・基準が厳しいし分かりづらい。 ○子育て支援に関する助成の充実（6） <ul style="list-style-type: none"> ・出生届を提出したときにオムツやミルクを頂けたら嬉しい。 ・本当に子供にお金がかかるのは小児医療費助成や児童手当がなくなってからだと思うので、実情に合わせて助成してもらえると子どもを産み育てる励みになる。 ・税金ばかりが高く支援という支援がない。
<p>[子育て環境・支援] (155)</p>	<p>[保育所]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○保育所の定員増（未満児、年度途中等）（46） <ul style="list-style-type: none"> ・就職希望だが、就職先が決まらないうと保育園には入れないので就職活動さえもできない。 ・保育園入園は仕事が決まっているのが前提なので、求職中でも入れやすい対策を希望。 ・仕事を続けられるように、1歳、2歳を年度途中からでも入園できるようにして欲しい。 ・市の託児所・保育園の空きがなく困る。 ・空きになるまで託児所へ預けるように市役所で言われたが無責任だと感じたから。 ・とにかく保育園に預けて働かないと生活が厳しいので、何とか入園できるように人数枠を増やして欲しい。 ○病児・病後児施設の充実（34） <ul style="list-style-type: none"> ・定員数を越えてしまい預けられなかったりキャンセル待ちになることがあるから、病児・病後児保育施設を増やして欲しい。

- ・病児保育をもっと充実させて、いつでも利用できるようにして欲しい。
- ・土日祝日も実施して欲しい。
- ・子どもが病気の時に気軽に頼めるところが欲しい。
- ・病児病後の保育施設がもっとあると働いているお母さんが、子どもを出産・育児に前向きになれると思う。

○一時保育の充実（定員増、時間延長等）（16）

- ・一時預かり保育で預けたい時に空きがなく預ける事が出来ない。時間的な事で預けられない事もあるので何とかして欲しい。
- ・利用したとき予約が一杯で利用したくてもできないことが多いため、保育園の一時預かりを増やして欲しい。
- ・働いていない親でも一時預かり保育の利用ができると書いてあっても、働いている方が優先でキャンセル待ちの状態、本当に利用したいときに利用できない。

○休日保育の充実（15）

- ・仕事が土日休みでない家庭もあるから土日普通に保育所を開けて欲しい。
- ・日曜日に父母ともに仕事があるので預けられる制度があるのも知っているが、もっと経済的に利用しやすくなればと思う。
- ・土日仕事をしているので、子どもを見て貰えるところがあると嬉しい。

○保育時間の延長（9）

- ・保育所の延長保育が18時までのところがあるので、せめて19時まで開けて欲しい。
- ・延長保育でなく保育園の預かる時間の延長があれば。

○保育所給食の充実（3）

- ・保育園の給食メニュー・量・3歳以上ごはん持参のシステム。

[その他子育て支援]

○放課後児童クラブの充実（時間、高学年等）（14）

- ・放課後児童クラブの時間延長（19時位まで）して欲しい。
- ・小学校の児童クラブを6年生まで見て欲しい。
- ・長期休暇（春・夏・冬休み）の児童クラブ開始時間を、親の仕事開始時間を考慮して早めにして欲しい。

○子育て支援センターの充実（時間延長、日曜開所等）（14）

- ・土日・祝日も支援センターを開放して欲しい。
- ・もっと子育て支援センターを充実させて欲しい。
- ・保育園児も遊びに行きたいため、子育て支援センターの土日等の時間を長くして欲しい。

○ファミリーサポートセンターの充実（2）

○職場内に保育所（2）

[自然・社会環境]
(76)

○子どもが遊べる場所の充実（37）

- ・動物園や水族館など、子どもと楽しめる施設など設置して欲しい。
- ・公園や遊ばせられるところももう少しあればと思う。
- ・小さい子が遊べるところがない。
- ・遊べる場所が少なくいつも同じ場所で遊んでいるので、子育て王国ならもっと実感できるようにして欲しい。
- ・幼児遊具のある公園を増やして欲しい。

○子どもと行ける飲食店の増加（21）

- ・子ども（特に0~2才）が一緒でも安心して食べられるようなお店が増えて欲しい。（例えば個室やプレイルームがある飲食店など）
- ・子どもと気軽にいけるお店・飲食店を増やして欲しい。
- ・お店などの建物のトイレに、子どもと一緒に入れるような広さや設備が欲しい。

	<ul style="list-style-type: none"> ・飲食店でのファミリースペースの充実。 <p>○雨の日等に屋内で子どもの遊べる場所の充実（１８）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県は天候がよくないので、悪天候でも子どもを遊ばせられる施設を作ってほしい。 ・雨の日の遊び場が少ないので、屋内で子どもたちが遊べる施設を増やして欲しい。 ・雨の土日に屋外で無料で遊ぶことができるような施設が欲しい。 ・雨の日に遊べる場所がない。
<p>[就業環境] (４６)</p>	<p>○子どもがいる人に対し理解ある職場環境（育休取得・勤務時間の考慮）（３２）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正規雇用者にとっては特に負担を感じないかもしれないが、子供の病気で預けるにも費用がいるし休むと収入減少。それに対する支援をして欲しいというのが切実な思い。 ・育児休業・休暇のさらなる充実のため、職場への啓発・支援など。 ・子どもは欲しいが仕事を辞めて産むとなると考えてしまう。復帰しやすい、子どもが小さくても雇用してくれる企業への支援を子育て王国なら考慮して欲しい。 ・中小企業でも育児休業や仕事復帰しやすい環境となるよう、指導・対策など考えて欲しい。 ・子どもが病気の時はすんなり休める環境を作って欲しい。 ・子どもの看護休暇などが父母にとって堂々と取得できる環境を。 <p>○父親に対し理解ある職場環境（育休等）（１１）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・父親の育児休業などがとりやすい職場を増やして欲しい。 ・子育て王国というのが現在ほとんど変化がない。父親の育児参加時間が平日は０分であり、父親の育児参加時間の増加を推進する。 ・父親の育児時間などの拡充・職場の理解。 ・鳥取県は共働き、核家族が多いので、父親が協力的であり育児に参加できるよう職場の環境作りをして欲しい。 <p>○雇用対策（３）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職に対して支援をもっと充実して欲しい
<p>[その他] (８７)</p>	<p>○特になし（１８）</p> <p>○子育て環境の充実（６）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済的な支援はもちろんですが、保育・教育環境について今後もっと充実を。 ・もっとちゃんと子育てしやすい環境を救って欲しい。 <p>○制度の周知（５）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もう少しわかりやすい子育て支援や産休について教えて欲しい。 ・仕事をしていると子育て情報がほとんど分からないので、希望者には県や市からイベント案内DM等あれば嬉しい。 <p>○子育て応援パスポートの店・サービスの充実（５）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・店、サービス内容を拡大して欲しい。 <p>○ゴミ袋の無料配布の充実（４）</p> <p>○公立幼稚園の設置（４）</p> <p>○歩道の整備（２）</p> <p>○その他（４３）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車がないと生活しづらいので子連れはタクシー料金が格安になると助かる。 ・税金が上がればいろんなお金が今以上にかかる ・母親が安心して子育てするために嫁姑のつきあい方を習う場所が欲しい。 ・子供が森の幼稚園に通っているが許可されておらず経営的に不安定。鳥取の自然を生かした取り組みなど行政が支援してもらえそうな仕組み作りをお願いします。 ・子育て支援は他町に比べ充実していると思うが、少子化対策となれば若い定住者を増やすことを考えて欲しい。 等

平成 23 年合計特殊出生率及び出生数について

子育て王国推進局子育て応援課

1 本県の合計特殊出生率 ⇒ 3年連続増加し、伸びは全国トップ

- 減少傾向が続く中、平成21年度から3年連続で上昇し、10年前の平成13年度の率まで回復
- 前年（確定値）と比較し増えているのは本県を含む6県のみで、本県の伸び（0.04増）は、秋田県（0.04）と並んで全国トップ。

2 本県の出生数 ⇒ 5年ぶりに増加し、増加数は全国トップ

- 第2次ベビーブーム以降出生数の減少が続く中、平成19年から4年連続減少していたが5年ぶりに増加。
- 全国的にも30歳代後半から40歳代の母親が出産の牽引役となっており、本県についても同様の傾向にあり、出生数及び合計特殊出生率上昇の要因といえる。
- 前年と比較し増えているのは全国で3県のみで、本県の増加数（141人増）は全国トップ（鹿児島県：120人増、徳島県：10人増）

（推移）

		平成20年	平成21年	平成22年	平成23年
合計特殊出生率 (鳥取県・全国)	鳥取県 (全国順位)	1.43 17位	1.46 13位	1.54 13位	1.58 8位
	全 国	1.37	1.37	1.39	1.39
	出生数 (鳥取県)	4,878 △137	4,876 △2	4,790 △86	4,931 +141
	母親が35歳以上の出産数 (対前年)	848 △20	975 +127	969 △6	1,150 +181
	(全体に占める割合)	17.4%	20.0%	20.2%	23.3%